

クラブ訪問

227

「二つ二つを大切に」

成田マリーシアズ

私たち成田マリーシアズは、小学2～6年生の男女31人で活動している野球クラブです。土・日曜日、祝日に中郷ふるさと交流館のグラウンドで活動しています。練習は2年、3・4年、5・6年生と分かれて、ノック、バッティング、連係プレーなど、基礎を中心に行います。また、練習試合も毎週行っています。

監督には、焦らずにアウトを一つずつ取ろうとよく言われます。失点やミスを恐れると焦りが生まれ、本来の力を発揮することができません。焦らないようにするには、個人の守備技術や連係プレーの強化により、自信を持つことが大事です。スムーズな連係プレーには仲間同士の声掛けが大切なのですが、今までは声が出ていないと監督から注意されていました。しかし、試合で悔しい思いをしたり、強くなりたいと練習に励んだりする中で、自分が引つ張っていくんだという自覚がチーム全体に生まれたことで、今ではグラウンドにみんなの大きな声が響くようになりました。

今のメンバーで挑んだ東総ジュニアカップでは準優勝することができ、大きな自信につながりました。でも、目標の県大会出場には、まだまだ努力が必要です。一つずつアウトを取っていくように、目の前の課題に一つ一つ向き合っていきます。



いちくわた 一鉄田 将 キャプテン(6年生)

1年生からクラブに入っています。キャプテンになってからは、練習や試合で誰よりも声を出すことを心掛けています。



繰り返しバントを練習



落下地点を予測して

なかまと一緒に

「歌曲の魅力が堪能」

リーダークララツ

224

私たち「リーダークララツ」は毎月第1・3水曜日に、玉造公民館でイタリア歌曲とドイツ歌曲を楽しんでいるサークルです。

以前はドイツ歌曲だけでしたが、発声練習を兼ねて、口を大きく開けて歌うイタリア歌曲も練習するようになりました。2つの国の歌を練習すると、歌曲がそれぞれの言語の特徴を生かして作られていることが分かります。それが魅力の一つであり、人々から愛される理由でもあ



魅力を多くの人に伝えたい

ります。

イタリア歌曲は、母音の発音を生かした伸びやかな歌が特徴です。愛をストレートに表現した歌詞からは情熱が感じられ、とても魅力的です。

一方で、ドイツ歌曲は有名な詩人の作品に曲を付けたものが多く、詩を朗読するようなりズム感で歌われます。失恋の歌が多いですが、文学的でロマンチックな歌詞には思わずうっとりしてしまいます。

練習の前には、先生が歌詞の内容を説明してくれます。背景となった歴史や文化を交えた説明は興味深く、とても勉強になります。さらに、歌詞に表されている情景がイメージできるようになり、歌に気持ちが入りやすくなります。

また、気持ちを込めて歌うためには、発音の練習が欠かせません。イタリア語とドイツ語の発音は全く違いますが、頭の体操を兼ねて、みんなで一生懸命練習しています。発音がうまくなると、曲に導かれて流れるように歌うことができ、心から歌曲を楽しめます。

これからの歌曲の魅力を存分に堪能し、その魅力を発表会などで多くの人に伝えられるよう、練習に励みます。



先生の指揮とピアノに導かれて



歌詞を大切に丁寧で歌う

スクスクのびのび

486



つちや けいと
土屋 恵翔くん(11カ月)

お姉ちゃんが大好きで、いつもお姉ちゃんの後ろを追いかけてます！



すずき はるや
鈴木 陽也くん(2歳)

ミニカーと電車が大好き。いつも元気いっぱいです。



くどう たいよう
工藤 大耀くん(1歳)

食べるのが大好きで元気な男子です。

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法
- 応募先
- 問い合わせ

お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコментарを郵送またはEメールで広報課へ
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
広報課 ☎20-1503